

日本地域福祉施設協議会

第21回全国地域福祉施設研修会

開催要項

貧富の格差は拡大する一方であり、貧困対策としての「子ども食堂」とか「各種サロン」といったとりくみが全国各地、住民の手で自発的に取り組まれています。このこと自体、喜ぶべきことであり、福祉に携わる者として学ぶ点も多いと思う反面、一過性とならないか、福祉の公的責任後退の後押しにならないか、といった疑問もぬぐえません。

社会福祉法人改革として、社会福祉法人に対して組織的な体制の組み換えとともに、地域貢献、公益事業なる事業の実施が義務付けられました。セツルメント施設としての私たち日本地域福祉施設協議会につらなる各法人、施設は、創立より基本姿勢として地域福祉の推進をかげ、制度に先駆けて様々な事業を展開してきています。そうした観点からみますと、この法人改革で示される地域貢献、公益事業実施が推奨されること自体は歓迎すべきことながら、この種の事業は、義務化されて実施するというものではなく、自発的にとりくむべきこととの思いを強くしています。

長い歴史をもつセツルメントを源流とする私たち地域福祉施設に連なる者としては、こうした現状をしっかりととらえつつ、自らの日々の働きを見つめなおし、これからの地域福祉施設としての歩むべき道筋を探るような学びの場となるよう、この全国研修会を開催したいと願っています。是非、ご参加のうえ、交流を通じて学びを深めましょう。

テ ー マ

セツルメントを語り、地域福祉を学ぶ

- 開催日程 2017年2月17日(金)午後1時～
18日(土)午後1時
- 会 場 日本福祉大学東海キャンパス
〒477-0031愛知県東海市大田町川南新田229
- 主 催 日本地域福祉施設協議会・東海地区地域福祉推進協会
- 後 援 厚生労働省/愛知県/東海市/全国社会福祉協議会/愛知県社会福祉協議会/名古屋市社会福祉協議会/東海市社会福祉協議会/日本福祉大学
(予 定)
- 参加者 地域福祉施設(隣保館・児童館・学童クラブ・子どもの家・保育園・障害児・者通園・通所事業所・その他の児童福祉・障害者施設・デイサービスセンター・在宅支援センター・母子支援センター・高齢者施設等)役・職員、福祉NPO関係者、国際交流関係者、社会福祉協議会関係者、行政関係者、学校関係者、福祉等ボランティア、研究者、福祉に関心をもつ住民ほか
- 参加費 一人8,000円【2日間参加】(但し、学生・住民ボランティアは500円)

プ ロ グ ラ ム

1 日 目 2月17日(金)

- 12時～13時 受 付
- 13時～13時20分 開 会 式
- 13時20分～14時 基調講演
テーマ；伊勢湾台風被災者支援から誕生した
名古屋キリスト教社会館の働き
講 師；谷川 修氏(名古屋キリスト教社会館常務理事)
- 14時～14時30分 特別報告
テーマ；東日本大震災、熊本地震に対する支援活動からみえる福祉課題
報告者；山根 一毅氏(日本YMCA同盟主事)
- 14時30分～15時 基調講演、特別報告へのコメント
原田 正樹氏(日本福祉大学教授)
- 15時15分～17時45分 分 科 会
- 18時～20時 懇親会(1階学生食堂)

2 日 目 2月18日(土)

- 9時～10時10分 記念講演
テーマ；コミュニティカフェと地域福祉
講 師；倉持 香苗氏(日本社会事業大学専任講師)
- 10時20分～12時20分 シンポジウム
テーマ；コラボで創る地域福祉
シンポジスト；黒宮 英二氏(聖マツテヤ子供の家施設長)
岡本 一美氏(サポート知多代表理事)
野川すみれ氏(名古屋市港区社会福祉協議会事務局次長)
コーディネーター；柴田 謙治氏(金城学院大学教授
東海地区地域福祉推進協会副会長)
- 12時20分～12時35分 メッセージ
阿部 志郎氏(横須賀基督教社会館会長
日本地域福祉施設協議会名誉会長)
- 12時35分～12時50分 まとめ
岸川 洋治氏(横須賀基督教社会館館長
日本地域福祉施設協議会会長)
- 12時50分～13時 閉会式・諸連絡

記念講演 講師紹介

倉持香苗氏(くらもち かなえ)日本福祉大学大学院研究科博士課程後期終了 社会福祉学博士 関西福祉科学大学、日本福祉大学、金城学院大学での専任(一部非常勤)講師、日本福祉大学助教を経て現職

研究のテーマは、地域における新しい居場所としてのコミュニティカフェを中心に、地域を基盤とする住民の主体的な活動など 著書は、『コミュニティカフェと地域社会—支え合う関係を構築するソーシャルワーク実践』『地域福祉分析論』ほか

分科会のご案内

第一分科会 災害と福祉、これに対応するのは協働の力

趣 旨 ; 災害多発国日本です。未だに東日本大震災、熊本地震にあっても仮設住宅住まいのまま、県外避難されたままの方が多くおられます。災害に対する福祉は、協働なしには進みません。地域福祉施設としてどう、この課題に応えるのかが問われています。

発題者 ; 日本福祉大学学生による災害ボランティアセンターの働き
大阪育徳園の災害支援グループのとりくみ

第二分科会 子育て支援はネットワークから

趣 旨 ; 子育て支援は、公的施設である保育園のみならず、地域住民自らの手による活動が一定定着をみせています。一方で、子どもの貧困が問題となり、地域住民による「子ども食堂」のとりくみ等もあちこちで進められています。そこでは、ネットワークが要となっています。

発題者 ; 「子育て支援センターなのはな」の地域、社協とのコラボによる多様な子育て支援の働き
子育て支援、その一環としての「みんなの食堂」のとりくみから
加藤ゆうこ氏(瑞穂区母親大会実行委員会事務局)

第三分科会 子どもの居場所をつくる放課後児童対策

趣 旨 ; 学齢児の地域における居場所としての学童保育も、やっと国が本腰を入れ制度的にも整備しつつあります。子どもの大切な居場所である学童保育を中心に、放課後の子どもの生活をどう豊かなものにしていくのか、みんなで考えあいましょう。

発題者 ; 地域に開かれた学童保育として50年「ちどり児童会」のとりくみ
東京都城東地区で120年の歴史を誇るセツルメント施設「興望館」の学童保育」のはたらき

助言者 ; 上條 桂子氏(静岡 こぐま保育園園長)

第四分科会 社会的児童養護・障がい児への手厚い支援に福祉の心をみる。

趣 旨 ; 先進国と言われる日本ですが、社会的に弱い立場におかれた養護児童、障がい児の支援施策は、まだ十分とはとても言えません。一方で、児童虐待は深刻さを増していますが、これに対応した先進的なとりくみは、いつも民間の手によって創られています。

発題者 ; 「日本児童育成園」による児童虐待防止と里親養成のとりくみ
「名古屋キリスト教社会館」における障がい児療育の今とこれから

第五分科会 障がい者が「このまちと暮らしたい」と言える地域を創る。

趣 旨 ; どんなに重い障がいがあっても、主体者として地域に生きる。多様なニーズに応える地域生活支援が求められています。それは、単に地域で暮らすというのではなく、地域住民との温かな交わりのある暮らしが保障されることです。

発題者 ; 「活動センターねーぶる」を拠点に、施設と地域住民とのコラボで始まったサロンのとりくみ
NPO法人による放課後児童デイサービスをとっかかりとした事業展開

第六分科会 高齢者を支える、居場所をつくる。

趣 旨 ; 一人の子どもが2人、あるいは4人の高齢者の介護にあたる、また、老々介護というケースも珍しくなくなっています。誰でも、住み慣れた地域で生涯を全うしたいという素朴な願い、この願いに少しでも応えたいというチャレンジが進んでいます。

発題者 ; 小規模多機能施設による“住み慣れた地域で生きる“を支える働き
社協が関わる先駆的な「高齢者サロン」のとりくみ

申込み・問い合わせについて

申込みは、所定の申込用紙にてお申込み下さい。参加費等は、指定の口座に期日までに振込でお願いいたします。

宿泊は、各自でご予約下さい。名古屋駅周辺、金山駅周辺のホテルが会場との行き来には便利です。

名古屋もそれなりに外国人観光客が多いため、ホテルの予約は、早めにお済ませ下さい。

参加費	研修会参加費	一般	8,000円(全日程参加)
		学生・住民ボランティア	5,000円(1日のみの参加)
	懇親会費		500円
			5,000円

締め切り 2017年2月10日(金)まで

定員(150名)になり次第締め切りとさせていただきますので、お早めにお申し込み下さい。

お問い合わせ

研修内容、参加申し込みに関する事項；名古屋キリスト教社会館

電話 052-612-3370

FAX 052-611-9085

メール tanikawa@shakaikan.com

谷川 か

または、電話 052-611-0707

FAX 052-746-0869

江尻まで

宿泊場所は、各自でご予約ください。

名古屋駅付近、次に特急電車が停車する金山駅付近が便利です。名古屋も、最近はそのなりに外国人客が多いため、ホテルの予約は早めにお済ませ下さい。

会場案内

日本福祉大学東海キャンパスへのアクセス

JR、近鉄、名鉄名古屋駅より、名鉄常滑線にて、太田川駅(名古屋駅より特急で17分3つ目駅)下車、徒歩3分

名古屋高速4号東海線「東海・新宝」インター下車10分

キャンパス内は、駐車できません。近くのコインパーキングをご利用ください。

